



レクダンスの練習風景

ダンシングヒーローの曲に合わせた、レクダンスの練習を行う、クラブの皆さん。
11月の「いきいき創造祭」や「ふれあい広場」に向けて元気に楽しくレッスンに励んでいます！

スローガン 健康・友愛奉仕

裾野市シニアクラブ連合会

裾野市シニアクラブ連合会では、「健康・友愛・奉仕」のスローガンのもと、地域に住む全ての高齢者の生きがいと健康の増進、さらには高齢者相互の支え合い活動や長年培った知識、経験の次世代への継承などを通じて、「地域の絆」の形成に貢献できるようクラブ活動を推進しています。現在市内30の単位クラブが連合会に入会。総勢1520名が、健康、友愛、奉仕活動に参加しています。

シニアクラブ連合会 今後の催し

事業名	日時	場所
第13回いきいき創造祭	11月21日(水) 10:00~	市民文化センター(入場制限なし)
会員研修講演会	1月23日(水) 13:00~	市民文化センター(会員限定)
第49回レクダンス講習会	1月29日(火) 9:30~	市民体育館(入場制限なし)
第44回オセロ大会	2月21日(木) 9:00~	市民文化センター会議室(会員限定)
第5回マグダーツ大会	2月21日(木) 9:00~	市民文化センター多目的ホール(会員限定)



第28回輪投げ大会成績結果

去る、10月18日に第28回輪投げ大会(市シニアクラブ連合会主催)が市民体育館にて行われ、全29チーム総勢305名が参加しました。結果は次のとおり→
市シニアクラブ事務局(電話 992-5750)

- 優勝：中丸下老人クラブ
- 第2位：文寿クラブ(公文名5区)
- 第3位：伊豆島田シニアクラブ
- 第4位：石脇石寿会
- 第5位：佐野二竜寿会
- 第6位：和泉友和会

RUN伴2018 参加報告

RUN伴(ランとも)は、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。主催は特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ(所在地:東京)



裏面 社協の重点事業について

すその社協だより

発行:(福)裾野市社会福祉協議会

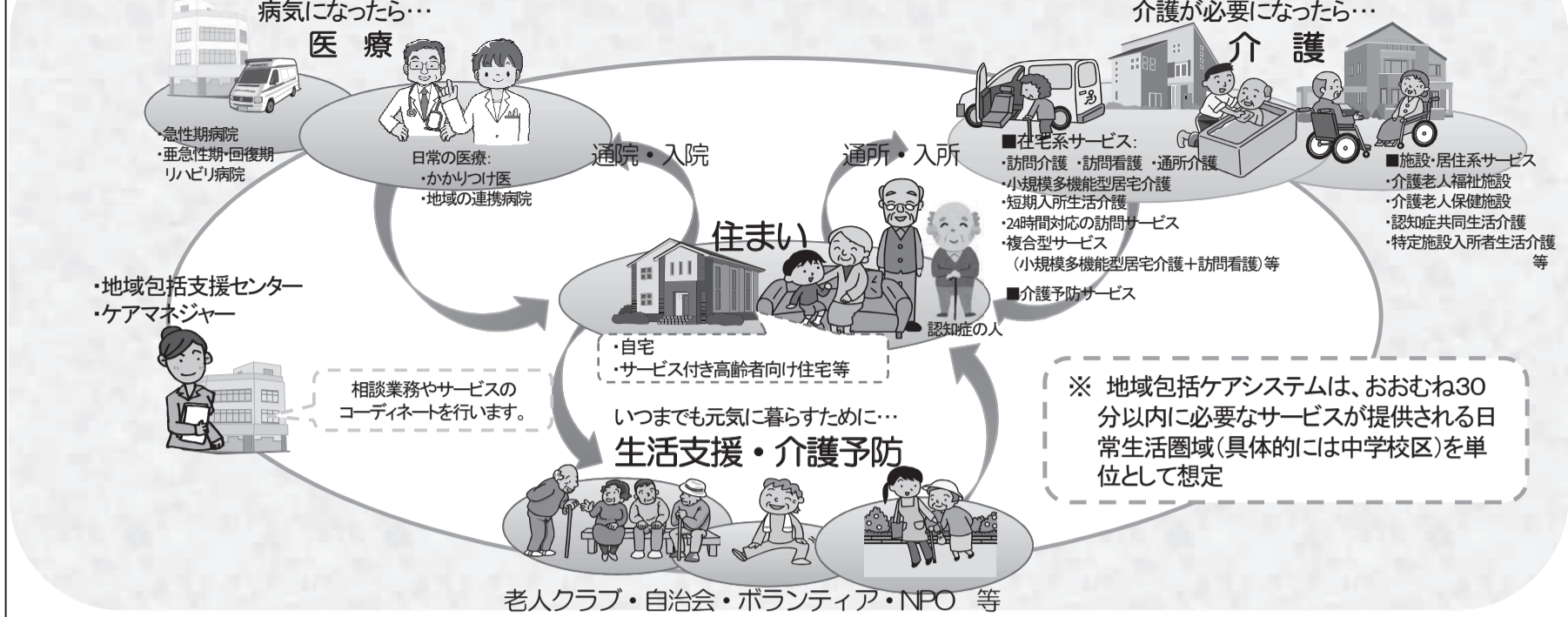
〒410-1117 裾野市石脇524-1 福祉保健会館2F

電話(055)992-5750/FAX (055)993-5909

E-mail:info@syakyo-susono.or.jp・http://www.syakyo-susono.or.jp/

北海道をスタートしたこのイベントは、去る9月21日に裾野コースとして、「あいの郷」職員チームと当事者1名が同施設を出発。JAなんすん深良支店から「裾野市社協」職員ならび福祉用具事業所職員が深良新田公民館まで、最後は「ヤザキケアセンター紙ふうせん」職員チーム、利用者さん2名が同施設までランニングをし、地域住民に対する認知症の理解、啓発を行いました。沿道で応援をいただきました地域の皆さま大変ありがとうございました。協力機関:あいの郷・ヤザキケアセンター紙ふうせん・ベルメディカルケア・裾野市介護保険課・裾野市地域包括支援センター・裾野市北部地域包括支援センター・裾野市居宅介護支援事業所・裾野市介護家族の会・裾野市社会福祉協議会

地域包括ケアシステムの姿



『誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまち』をめざし
 共生・支え合いによる地域社会の実現に取り組めます(社会福祉協議会)

近年、急速な少子高齢化の他、認知症高齢者の増加が問題視されており、そのため認知症や重度な介護状態の一人暮らし高齢世帯になっても、住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められています。

また、住民同士の人間関係が希薄化し、地域の支え合いの力が弱まりつつあり、社会的孤立や社会的排除を生みだしていることや、8050世帯(80歳代の親が50歳代の子を支える)老老介護、障害児を子育てしながら親の介護をするなど、多様な生活課題が顕在化しつつあります。

私たち社会福祉協議会は住民自身の自助努力と「他人を思いやり、お互いを助け合おうとする精神」を基盤に共生・支え合いによる地域社会の実現をめざし、「住民主体」を原則に、行政や多彩な主体と協力して福祉のまちづくりを推進します。

特に「お互いさまサービス」(住民参加型在宅福祉サービス)は、日常生活のちよとした困りごとを、協力できる住民ボランティアが支え合う、住民主体による生活支援の仕組み作りであります。

○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

○今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

○人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

引用：厚労省ホームページより

重点施策

地域福祉課題の解決に向けた対策

一、住民の福祉活動の組織化と基盤づくり

制度・分野ごとの「縦割り」や「受け手」「支え手」という関係を超越して、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる地域共生社会の実現を目指します。

生活支援体制整備事業や地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の社会参加やサービスの担い手の養成、住民、ボランティア、社会福祉関係機関との連携・協働による新たな基盤づくりを推進します。

二、生活課題の支援と福祉サービスの質向上

人々の尊厳と自己決定を尊重し、深刻な生活課題や社会的孤立などの新たな地域福祉の課題に向き合い、受け止め、相談・支援や解決につなげるよう取り組みます。

具体的には、なんでも相談や弁護士相談による支援、判断能力が不十分な人のため日常的な金銭管理を行う日常生活自立支援事業を連携して実施するほか、成年後見人制度への取り組みについて推進していきます。

低所得世帯等に対し、経済的な自立を目的とした生活福祉資金貸付金、介護保険事業のホームヘルプサービス、居宅介護支援センター、老人デイサービスセンターにあっては個人の尊厳の保持を旨とした福祉サービスの質の向上に努めます。同様に、障害福祉サービスの推進では障害児(者)の相談事業、放課後等デイサービス事業、生活介護事業を「すその障がい者支援プラザ」にて一体的に展開します。

第36回 ふれあい広場

みんなが幸せに生きていくことは、市民一人ひとりの願いです。同じ空の下に生きている仲間同士、すべての市民のみなさんが思いやりの心で福祉について考え、理解し住みよい地域づくりをしていくために、裾野市ふれあい広場を開催いたします。



日時：平成30年11月18日(日) 10時から14時30分
場所：裾野市福祉保健会館駐車場
駐車場：市民文化センター(シャトルバスの利用をお願いします)

福祉に関連する参加団体によるステージプログラムをはじめ、日用品、家庭用品のバザーやボランティア・介護保険等各種相談、模擬店での販売、施設での自主製品販売や、民生委員による「川柳コーナー」等が行われます。また、当日は「ふれあい消防広場」も同時開催され、体験・展示コーナー・模擬店が開かれます。当日は、多くの皆さんの来場をお待ちしております。

●ふれあい広場 時間：9時45分～(パレード) 10時～14時30分 会場：福祉保健会館駐車場 問合せ：社会福祉協議会 (TEL992-5750)

シャトルバス発車時刻

市役所発 09:15・09:45・10:45・11:30
 福祉会館発 12:30・13:15・14:00・14:45



市民文化センター駐車場を確保しておりますが、満車で駐車いただけない場合がございますので、シャトルバスもご利用ください。

交通規制のお願い

規制区間
 裾野市営プール前バス停及び水道タンク北側から福祉保健会館前交差点まで。

規制期間
 平成30年11月18日(日)9時30分から15時まで

※会場設営のため、福祉保健会館駐車場は11月16日(金)17時から18日(日)まで利用できません。